

PAT-NO: JP405330339A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05330339 A
TITLE: WINDOW MOUNTING TYPE VISOR
PUBN-DATE: December 14, 1993

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HIRAOKA, TADAYASU
SAITO, MITSUTERU

| | |
|-----------------------|---------|
| ASSIGNEE-INFORMATION: | |
| NAME | COUNTRY |
| HIRAOKA TADAYASU | N/A |
| SAITO MITSUTERU | N/A |

APPL-NO: JP04164110
APPL-DATE: May 29, 1992

INT-CL (IPC): B60J003/02
US-CL-CURRENT: 296/97.1, 296/97.8

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a window mounting sun visor which can be disposed not only at the upper part of a windshield glass or a side window glass but also at the intermediate or lower part of it.

CONSTITUTION: A window mounting type sun visor is provided with a mounting fitting 11 mounted near a window edge, a telescoping rod 12 of which base part is mounted oscillatably to the mounting fitting 11, and a sun visor plate 13 mounted at least at the top of the telescoping rod 12.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-330339

(43)公開日 平成5年(1993)12月14日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 0 J 3/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 7816-3D

審査請求 未請求 請求項の数3(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-164110

(22)出願日 平成4年(1992)5月29日

(71)出願人 592135269

平岡 忠保

福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘2丁目1-46

(71)出願人 592046116

齋藤 光輝

福岡県行橋市門樋町7-14

(72)発明者 平岡 忠保

福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘2丁目1-46

(72)発明者 齋藤 光輝

福岡県行橋市門樋町7-14

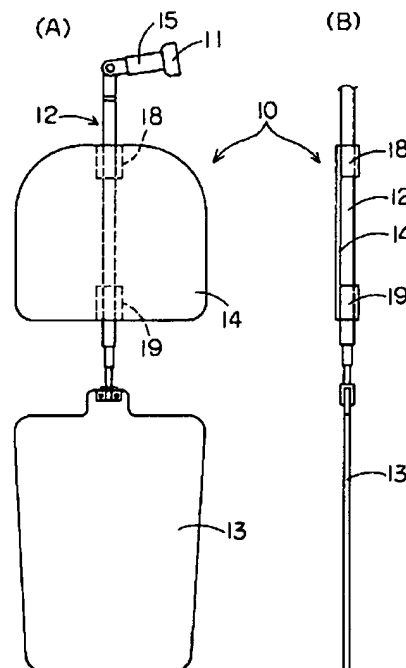
(74)代理人 弁理士 中前 富士男

(54)【発明の名称】 窓取付け型日除け具

(57)【要約】

【目的】 前面ガラスあるいは側面ガラスの上部だけでなく、それぞれの中間部あるいは下部にも配置することができる窓取付け型日除け具を提供する。

【構成】 窓縁20近傍に取付けられる装着金具11と、該装着金具11に首振り自在にその基端部が取付けられた伸縮ロッド12と、該伸縮ロッド12の少なくとも先端部に取り付けられた日除け板13とを有してなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 窓縁近傍に取付けられる装着金具と、該装着金具に首振り自在にその基端部が取付けられた伸縮ロッドと、該伸縮ロッドの少なくとも先部に取付けられた日除け板とを有してなることを特徴とする窓取付け型日除け具。

【請求項2】 窓縁近傍に取付けられる装着金具と、該装着金具にその基端部が取付けられた屈曲可能な支持部材と、該支持部材の先部に取付けられた日除け板とを有してなることを特徴とする窓取付け型日除け具。

【請求項3】 日除け板は、濃色付き透光板である請求項1、2記載の窓取付け型日除け具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車、船舶等の交通機関あるいは監視室等の窓に取付け、運転者等が太陽光を遮る場合に使用する日除け具（通称、サンバイザーと言われる）に関する。

【0002】

【従来の技術】自動車の運転席の前面窓には、太陽光線が直接目に入るのを防止する為、細長長方形の日除け板（サンバイザー）が首振り自在に取付けられ、前面窓の上部及び向きを変えて側面ガラスの上部からの太陽光を遮るようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の日除け板は、窓の前面上部と横上部の2箇所しかセットできず、西日が当たる為に信号器の色の識別が困難となって事故に繋がる場合もあり、従来の日除け板では太陽の位置が低い場合には十分にカバーできないという問題点があった。更には、従来の日除け板は、太陽のみを主点において設計がなされているので、対向車のライトの光に対しては全く効果がないという問題点があった。本発明はかかる事情に鑑みてなされたもので、前面ガラスあるいは側面ガラスの上部だけでなく、それぞれの間部あるいは下部にも配置することができる窓取付け型日除け具を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記目的に沿う請求項1記載の窓取付け型日除け具は、窓縁近傍に取付けられる装着金具と、該装着金具に首振り自在にその基端部が取付けられた伸縮ロッドと、該伸縮ロッドの少なくとも先部に取付けられた日除け板とを有して構成されている。請求項2記載の窓取付け型日除け具は、窓縁近傍に取付けられる装着金具と、該装着金具にその基端部が取付けられた屈曲可能な支持部材と、該支持部材の先部に取付けられた日除け板とを有して構成されている。また、請求項3記載の窓取付け型日除け具は、請求項1または2記載の窓取付け型日除け具において、日除け板は濃色付き透光板によって構成されている。

【0005】

【作用】請求項1記載の窓取付け型日除け具は、日除け板が伸縮ロッドを介して取付けられているので、窓の上部のみでなく、中間部あるいは下部にも前記日除け板を配置することができ、従って、西日あるいは対向車のライトを避けるように前記日除け板を配置することができる。請求項2記載の窓取付け型日除け具は、日除け板が屈曲可能な支持部材を介して取付けられているので、窓の上部のみでなく、中間部あるいは下部にも前記日除け板を配置することができ、従って、西日あるいは対向車のライトを避けるように、前記日除け板を配置することができる。請求項3記載の窓取付け型日除け具においては、日除け板が濃色付き透光板によって構成されているので、減光されるが、日除け板を通して外の景色を見ることができ、更に、これによって日除け、ライト避けを行う。

【0006】

【実施例】続いて、添付した図面を参照しつつ、本発明を具体化した実施例につき説明し、本発明の理解に供する。ここに、図1は本発明の第1の実施例に係る窓取付け型日除け具の正面図及び部分側面図、図2は同使用状態を示す正面図、図3は本発明の第2の実施例に係る窓取付け型日除け具の斜視図である。

【0007】図1、図2に示すように、本発明の第1の実施例に係る窓取付け型日除け具10は、窓縁に取付けられる装着金具11と、該装着金具11に取付けられた伸縮ロッド12と、該伸縮ロッド12の中間部及び先部に取付けられた日除け板13、14とを有してなる。以下、これらについて詳しく説明する。

【0008】前記伸縮ロッド12は、通常、金属製のロッドアンテナと同一構造となっており、複数段の直径の異なる装着可能な筒体を有し、その先端部に日除け板13を備え、中間部に日除け板14が取付けられている。なお、該伸縮ロッド12をプラスチックによって構成することも可能である。そして、該伸縮ロッド12の基端部には屈曲及び回転する基端継手15を備え、該基端継手15の端部にはビス止め孔16、17を備える装着金具11が設けられている。

【0009】前記日除け板13、14は、有色アクリルあるいはその他の有色プラスチックを材料とした薄い濃色付き透光板からなり、通過する光の量を1/3（好ましくは1/8）以下に減光するようになっている。そして、前記日除け板13は、前記伸縮ロッド12の先端部に接着材あるいはビスによってその一端が固着され、前記日除け板14は、前記伸縮ロッド12の基端側の太径部に回転及び摺動移動可能に取付管18、19を介して取付けられている。

【0010】従って、窓取付け型日除け具10を使用する場合には、図2に示すように、窓縁20の上部に前記装着金具11を螺子止めすることによって行う。そし

て、太陽あるいは対向車のライトに、前記日除け板13、14を回転あるいは摺動、傾動移動させることによって、該日除け板13、14の何れかで覆うことによって、太陽光あるいは対向車のライト光を遮り、場合によって減光する。

【0011】続いて、図3を参照しながら、本発明の第2の実施例に係る窓取付け型日除け具22について説明すると、該窓取付け型日除け具22は、装着金具23と、該装着金具23に基端部が固定された屈曲可能な支持部材24と、該支持部材24の先端部に設けられた日除け板25とを有して構成されている。以下、これらについて詳しく説明すると、前記装着金具23に設けられている支持部材24は外側にスパイラル部材を備え、外部から力を加えることによって一定の曲率半径まで自由に曲がって、その形を保持し、先端部に回転可能に取付けられている前記日除け板25を所定の位置及び角度に保持できるようになっている。

【0012】なお、日除け板25の材質は前記日除け板13、14と同一である。そして、日除け板13、14、25の大きさは、この実施例においては、(7~9cm)×(7~15cm)程度であったが、これより小さい場合あるいは大きい場合も本発明は適用される。

【0013】前記窓取付け型日除け具10あるいは22を、従来のサンバイザーと共に、窓上部に取り付けることも可能であり、この場合には、従来のサンバイザーの取付け金具に並設して取付ける装着金具(例えば、Uボルト、ナット)を用いることになる。また、前記実施例においては、日除け板13、14、25は濃色付き透光板によって構成したが、完全遮光板、半遮光板を用いることも可能であり、更には出来るだけ軽いことが望ましいので、発泡プラスチックによって構成することも可能である。更には、前記日除け板13、14、25の室内側に、ミラーを設けることも可能である。

【0014】

【発明の効果】請求項1記載の窓取付け型日除け具は、日除け板が伸縮ロッドを介して取付けられており、また、請求項2記載の窓取付け型日除け具においては、日

除け板が屈曲可能な支持部材を介して取付けられているので、前面ガラスあるいは側面ガラス上部のみでなく、中間部あるいは下部にも前記日除け板を配置することができる。従って、西日あるいは対向車のライトを避けるように前記日除け板を配置することができ、これによって走行中の安全を図ることができ、交通事故の防止に役立てることができる。請求項3記載の窓取付け型日除け具においては、日除け板が濃色付き透光板によって構成されているので、太陽あるいは対向する自動車の光は、減光されて目に入り、更には、該日除け板を通して外の景色を見ることができるので、適当な減光率の日除け板を使用することによって、更に安全運転を確保することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例に係る窓取付け型日除け具を示す図面であって、(A)は正面図、(B)は部分側面図である。

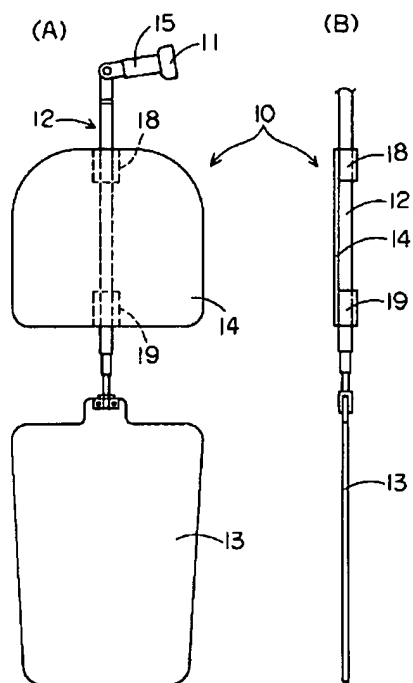
【図2】同使用状態を示す正面図である。

【図3】本発明の第2の実施例に係る窓取付け型日除け具の斜視図である。

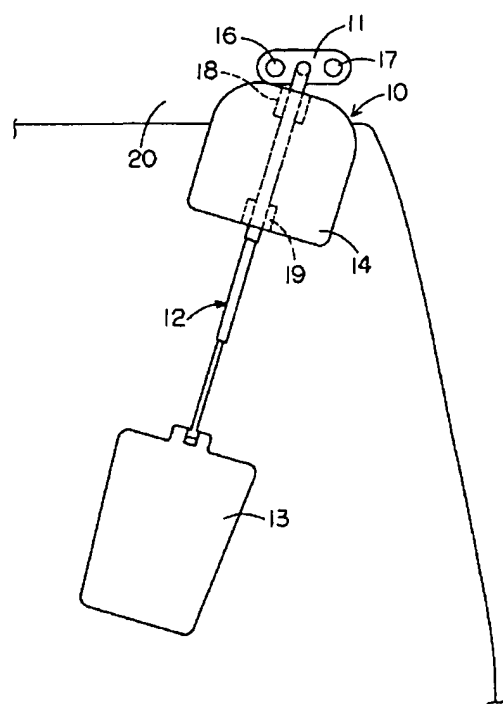
【符号の説明】

- 10 窓取付け型日除け具
- 11 装着金具
- 12 伸縮ロッド
- 13 日除け板
- 14 日除け板
- 15 基端継手
- 16 ビス止め孔
- 17 ビス止め孔
- 18 取付管
- 19 取付管
- 20 窓縁
- 22 窓取付け型日除け具
- 23 装着金具
- 24 支持部材
- 25 日除け板

【図1】



【図2】



【図3】

